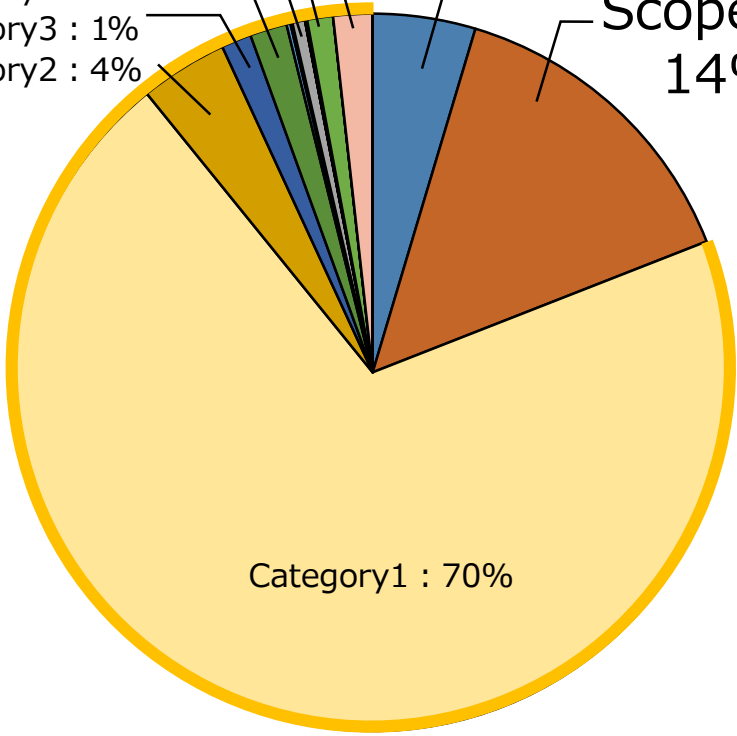


Y K K 株式会社

項目	内容
1.企業情報	<p>(Y K K (株)では、まずグループ会社であるY K K A P (株)でSBTを設定し、その後グループ内へ展開する。ここではY K K A P (株)の報告とする。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 企業名：Y K K A P 株式会社 ● 業種：製造業 ● 事業概要：建材製造 ● 事業規模：売上高4,135億円、従業員数16,700名 (海外含む)
2.削減目標案 ※定量値公表が難しい場合、定性的説明でも可	<p><Scope 1・2 の削減目標と削減に向けた取り組み></p> <p>目標 : 「Scope1・2」2030年に2013年比で30%削減</p> <p>取り組み : 高効率機器、運用改善による省エネ、燃料転換と電力の再エネ化の推進</p> <p><Scope 3 の削減目標と削減に向けた取り組み></p> <p>目標 : 「Scope3」2030年に2013年比で30%削減</p> <p>取り組み : CO2排出原単位が低い原材料の調達 輸送効率の向上</p>

Y K K 株式会社

項目	内容	
3.基準年のGHGインベントリ[数値は任意]	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope 1・2・3の排出量の状況 	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE1 : [tCO2] (任意)
	 <p>Category12 : 2% Category10 : 1% Category7 : 1% Category4 : 2% Category3 : 1% Category2 : 4% Scope1 : 5% Scope2 : 14% Category1 : 70%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE2 : [tCO2] (任意)
	<p>Scope3 : 81%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE3 : [tCO2] (任意) 目標の対象セクター :

Y K K 株式会社

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<p>【リスク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● CO2排出規制強化による省エネ投資コストの増加 ● エネルギー資源枯渇・電力需給ひっ迫によるエネルギーコストの増加 <p>【機会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● CO2削減貢献商品の提供 ● 工場・事務所の省エネによるエネルギーコストの削減
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none"> ● 2050年の目指す姿として、「事業活動におけるライフサイクル全体を通して“環境負荷ゼロ”を実現」を設定。 この実現のため、2030年のSBTに基づいた数値目標の設定を検討。

Y K K 株式会社

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none">● 環境部門で目標案を検討し、社内環境政策委員会で検討。● 第三者機関による目標認定のメリットを共有。
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none">● 更なる省エネ、再生可能エネルギーの導入拡大● CO2排出原単位が低い原材料の調達